

<中国> 新居浜工業高等専門学校

*****断り*****

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

新居浜工業高等専門学校 HP : <https://www.niihama-nct.ac.jp/>

学校案内 2020 : <https://www.niihama-nct.ac.jp/guide2020.pdf>

*アクセス(図は新居浜高専 HP より引用)

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7-1



図1 アクセスマップ

*特色(一部文章及び URL は新居浜高専 HP より引用)

- ・ 国立高等専門学校の第1期校
- ・ 本科には現在、機械工学科・電気情報工学科・電子制御工学科・生物応用化学科・環境材料工学科のそれぞれ入学定員40名の5つの専門学科

- ・平成4年(1992)には、5年間のこれら本科の上に修学期間2年の生産工学専攻(平成16年度に生産工学専攻及び生物応用化学専攻に改組)及び電子工学専攻の専攻科が設置
- ・新居浜高専は、“KOSEN(高専)4.0”イニシアティブ支援対象事業として『“ロボットと共に育つ”実践型AI活用人財育成』を申請し、平成30年6月に採択された。

文部科学省は、産業界を中心に社会から高い評価を受けている国立高等専門学校の教育の高度化のために、国立高等専門学校機構の“KOSEN(高専)4.0”イニシアティブに重点的に予算配分を行った。“KOSEN(高専)4.0”イニシアティブとは、「新産業を牽引する人材育成」、「地域への貢献」、「国際化の加速・推進」の3つの方向性を軸に、各高専の強み・特色を伸長することを目的として実施する事業である。高専機構は、平成31年度からの第4期中期目標期間に向けたカリキュラムの改訂や組織改編などを伴う取組を通じて、各校の在り方・役割(ミッション)を自ら見つめ直すことを期待しており、平成29、30年度をその準備期間と位置付け、その取組のスタートアップ経費をメリハリをつけて重点的に支援することにした。その結果、平成30年度は、49高専から申請された78件の事業計画に関して、書面審査および面接審査の結果を踏まえ、34件の支援対象事業が選抜された。(平成29年度は、全国51高専から申請された96件の事業計画に関して、書面審査および面接審査の結果を踏まえ、37件の支援対象事業が選抜された。)

新居浜高専の支援対象事業

新居浜高専は、近年急速に普及しているAIを活用できる人材の育成が急務となっていることを踏まえ、『“ロボットと共に育つ”実践型AI活用人財育成』を申請し、採択された。

本校の高度技術教育研究センター内に設置された[マシンラーニング応用ラボ](#)を核とし、AI関連技術を基礎から応用まで修得することができる学年縦断・学科横断型カリキュラム「実践型AI活用技術者育成特別課程」を設け、AI機能を実現するスーパーコンピュータの利用環境を整備し、ロボットを題材としてもものづくりに関連したAI活用技術を身に付けた地域に貢献できる学生を、出前授業やピアインストラクションを含む実践的手法で育成する。また、このために、新居浜市が進めている“RCC新居浜”の計画や、“えひめAI・IoT推進コンソーシアム”に参画する地域の企業と連携していく。(RCC:Re・Create・Community)

本事業では、ロボットを題材とすることで具体的なものづくりとAIとの関連を意識させながら、出前授業やピアインストラクションで能動的学習を促し、AI技術を使いこなすことができる実践的技術者を育成することを目的としている。

特別課程 (PE, AT, AI)

[次世代型プラント技術者育成特別課程 \(PE 課程\)](#)

[アシスティブテクノロジー技術者育成特別課程 \(AT 課程\)](#)

人工知能活用人財育成特別課程 (AI 課程)

*教育目標・教育理念(一部文章は新居浜高専 HP より引用)

学校の基本理念 (教育理念)

「知恵・行動力・信頼」

基本方針

教育の基本方針

「学びと体験を通じて、未来を切り拓く知恵と行動力を持った信頼される技術者を育てる。」

学校運営の基本方針

新居浜工業高等専門学校は、

- 1) 個性あふれる教育を創造し、実践する「知恵」と
- 2) 教育研究の向上にたゆまず努力する「行動力」を持ち、
- 3) 地域と共に歩む「信頼」される学校を目指す。

教育目標

1. 体験教育を通して、自主性、責任感及び自己学習能力を養う。
2. 課題発見と問題解決のための確かな知識、豊かな感性及び実践力を養う。
3. 豊かな教養と技術者としての倫理観を養い、社会に貢献できる広い視野を育む。
さらに、専攻科の教育目標に次の事項を加える。
4. リーダーとして信頼される資質・能力を高め、国際的なコミュニケーション能力を伸長する。
5. 創造的な技術開発能力と総合的な判断能力を養う。

*3つのポリシー(一部文章は新居浜高専 HP より引用)

新居浜工業高等専門学校本科の入学受入方針 (アドミッション・ポリシー)

本校の教育の基本方針は、「学びと体験を通じて、未来を切り拓く知恵と行動力を持った信頼される技術者を育てる。」である。この教育方針に基づいた教育目標を以下のように定めている。

- 1) 体験教育を通して、自主性、責任感及び自己学習能力を養う。
- 2) 課題発見と問題解決のための確かな知識、豊かな感性及び実践力を養う。
- 3) 豊かな教養と技術者としての倫理観を養い、社会に貢献できる広い視野を育む。

本校において、これらの教育目標を達成することができる資質を有している学生の選抜を目的とし、推薦による選抜、学力による選抜及び帰国子女特別選抜を行う。

推薦選抜においては、在籍中学校長が責任を持って推薦でき、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有している人を選抜するため、推薦書、調査書及び自己申告書を

評価するとともに、目的意識・学習意欲・適性などに関する面接と口頭試問を行い、その結果を総合的に評価する。

学力選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有している人を選抜するため、調査書を評価するとともに、学力検査を行い、その結果を総合的に評価する。

帰国子女特別選抜においては、豊かな海外経験を持ち、本校の教育を受けるのに必要な素養、基礎学力及び日本語能力を有している人を選抜するため、調査書を評価するとともに、学力検査、作文による検査及び面接を実施し、その結果を総合的に評価する。

具体的には、次のような学生を求めている。

- ・ 数学や理科が好きで、将来技術者になりたいと考えている人
- ・ 物を作ったり、実験したりすることが好きな人
- ・ 中学校の学習内容を身につけている人
- ・ 目標の実現に向かって絶えず工夫し、着実に努力できる人
- ・ ルールや約束を守ることができ、協調性や思いやりのある人

さらに、各学科では次のような学生を求めている。

機械工学科

- ・ 物のしくみに興味を持ち、楽しく「ものづくり」ができる人
- ・ 学んだことを活かして、積極的に「ものづくり」ができる人
- ・ アイデアを出し合って、協力して「ものづくり」ができる人

電気情報工学科

- ・ 電気エネルギーを作ることや利用することに興味のある人
- ・ 携帯電話などの情報通信システムに興味のある人
- ・ コンピュータの仕組みやプログラミングに興味のある人

電子制御工学科

- ・ エレクトロニクス、情報処理、制御に関する分野を幅広く学習したい人
- ・ ものづくりやロボットづくりの技術に興味のある人
- ・ コンピュータやインターネットの分野に興味のある人

生物応用化学科

- ・ 化学反応や物質の性質など化学の分野に興味がある人
- ・ 微生物、細胞、培養などのバイオテクノロジーの分野に興味がある人
- ・ 実験が好きで、自ら進んで新しいことにチャレンジしたい人

環境材料工学科

- ・ 材料と地球環境との関係に関心がある人
- ・ 優れた性能を持った新しい材料をつくりたい人
- ・ 新しいことにチャレンジするバイタリティーがある人

新居浜工業高等専門学校本科の編入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本校の教育の基本方針は、「学びと体験を通じて、未来を切り拓く知恵と行動力を持った信頼される技術者を育てる。」である。この教育方針に基づいた教育目標を以下のように定めている。

- 1) 体験教育を通して、自主性、責任感及び自己学習能力を養う。
- 2) 課題発見と問題解決のための確かな知識、豊かな感性及び実践力を養う。
- 3) 豊かな教養と技術者としての倫理観を養い、社会に貢献できる広い視野を育む。

これらの教育目標を達成することができる資質を有している学生を入学させることを入学者選抜の基本方針としている。入学者選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有している人を選抜するため、調査書を評価するとともに、学力検査及び面接検査を行い、その結果を総合的に評価する。

具体的には、次のような学生を求めている。

- ・ 数学や理科が好きで、将来技術者になりたいと考えている人
- ・ 物を作ったり、実験したりすることが好きな人
- ・ 工学教育を受けるために必要な学力を身につけている人
- ・ 目標の実現に向かって絶えず工夫し、着実に努力できる人
- ・ ルールや約束を守ることができ、協調性や思いやりのある人

さらに、各学科では次のような学生を求めている。

機械工学科

- ・ 物のしくみに興味を持ち、楽しく「ものづくり」ができる人
- ・ 学んだことを活かして、積極的に「ものづくり」ができる人
- ・ アイデアを出し合って、協力して「ものづくり」ができる人

電気情報工学科

- ・ 電気エネルギーを作ることや利用することに興味のある人
- ・ 携帯電話などの情報通信システムに興味のある人
- ・ コンピュータの仕組みやプログラミングに興味のある人

電子制御工学科

- ・ エレクトロニクス、情報処理、制御に関する分野を幅広く学習したい人
- ・ ものづくりやロボットづくりの技術に興味のある人
- ・ コンピュータやインターネットの分野に興味のある人

生物応用化学科

- ・ 化学反応や物質の性質など化学の分野に興味がある人

- ・微生物、細胞、培養などのバイオテクノロジーの分野に興味がある人
- ・実験が好きで、自ら進んで新しいことにチャレンジしたい人

環境材料工学科

- ・材料と地球環境との関係に関心がある人
- ・優れた性能を持った新しい材料をつくりたい人
- ・新しいことにチャレンジするバイタリティーがある人

卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）

新居浜高専は、学則に掲げた教育上の目的を達成するため、所定の在学期間において、所属学科の定める工学基礎知識、専門知識、問題解決能力、教養、コミュニケーション能力、社会性を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定する

(1) 機械工学科

- A.工学基礎知識：機械工学分野の知識を学ぶために必要な数学、自然科学などの基礎知識を身につけている。
- B.専門知識：機械工学分野に関する専門知識と技術を身につけている。
- C.問題解決能力：ものづくりを通して得られるデザイン能力を活用し、問題解決に取り組める。
- D.教養：豊かな教養を持ち、正しい倫理観を身につけ、技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる。
- E.コミュニケーション能力：自分の考えを論理的に他人に伝達できるとともに、英語によるコミュニケーションの基礎を身につけている。
- F.社会性：キャリア教育や課外活動を通じて自主性、責任感、公共心を身につけている。

(2) 電気情報工学科

- A.工学基礎知識：電気・情報・通信分野の知識を学ぶために必要な数学、自然科学などの基礎知識を身につけている。
- B.専門知識：電気・情報・通信分野に関する基本的な知識と技術を身につけている。
- C.問題解決能力：電気・情報・通信分野に関して身につけた基本的な知識と技術を活用し、問題解決に取り組める。
- D.教養：豊かな教養を持ち、正しい倫理観を身につけ、技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる。
- E.コミュニケーション能力：自分の考えを論理的に他人に伝達できるとともに、英語によるコミュニケーションの基礎を身につけている。
- F.社会性：キャリア教育や課外活動を通じて自主性、責任感、公共心を身につけている。

(3) 電子制御工学科

- A.工学基礎知識：電子制御に関連する工学技術を学ぶために必要な数学，自然科学などの基礎知識を身につけている。
- B.専門知識：電子制御に関連する専門知識と技術を身につけている。
- C.問題解決能力：電子制御に関連する知識と技術を活用し，問題解決に取り組める。
- D.教養：豊かな教養を持ち，正しい倫理観を身につけ，技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる。
- E.コミュニケーション能力：自分の考えを論理的に他人に伝達できるとともに，英語によるコミュニケーションの基礎を身につけている。
- F.社会性：キャリア教育や課外活動を通じて自主性，責任感，公共心を身につけている。

(4) 生物応用化学科

- A.工学基礎知識：応用化学，生物工学を学ぶために必要な数学，自然科学などの基礎知識を身につけている。
- B.専門知識：応用化学，生物工学に関する専門知識と技術を身につけている。
- C.問題解決能力：身につけた専門知識と技術を継続的に向上させ，応用化学や生物工学の課題を発見し，問題解決に活用することができる。
- D.教養：豊かな教養を持ち，正しい倫理観を身につけ，技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる。
- E.コミュニケーション能力：自分の考えを論理的に他人に伝達できるとともに，英語によるコミュニケーションの基礎を身につけている。
- F.社会性：キャリア教育や課外活動を通じて自主性，責任感，公共心を身につけている。

(5) 環境材料工学科

- A.工学基礎知識：材料工学の知識を学ぶために必要な数学，自然科学などの基礎知識を身につけている。
- B.専門知識：環境との調和を考慮した材料に関する専門知識と技術を身につけている。
- C.問題解決能力：専門知識を活用し，問題解決に向けて自主的に考えることのできる実践的な応用能力を身につけている。
- D.教養：豊かな教養を持ち，正しい倫理観を身につけ，技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる。
- E.コミュニケーション能力：自分の考えを論理的に他人に伝達できるとともに，英語によるコミュニケーションの基礎を身につけている。
- F.社会性：キャリア教育や課外活動を通じて自主性，責任感，公共心を身につけている。

卒業認定の方針に掲げる知識・技術を修得させるために、以下の方針に基づきカリキュラムを編成し、教育を実施する。

(カリキュラム編成の方針)

(1) 機械工学科

- ・技術者として必要な幅広い教養と倫理観を身につけるため、一般科目として、国語、社会、数学、理科、保健体育、芸術、外国語などの科目を配置する。
- ・機械系技術者として必要な専門知識や技術を身につけるため、専門科目として、材料力学、機械力学、水力学、熱力学などの科目を配置する。
- ・低学年から高学年に進むにつれて、基礎的な知識から専門的かつ高度な知識や技術を身につけることができるよう、一般科目と専門科目をバランスよく配置する。
- ・創造力、問題解決能力を育むため、設計製図、創造設計製作、工学実験などの実験・実習科目を配置する。
- ・論理的思考力、コミュニケーション力などの汎用的能力を身につけるため、卒業研究などの科目を配置する。
- ・国際的なコミュニケーション能力を身につけるため、英語科目を各学年に配置する。
- ・広く実社会における体験活動を行い、自主性、責任感、公共心を身につけ、幅広い職業観を持つことができるよう、学外研修やインターンシップなどを取り入れる。

(2) 電気情報工学科

- ・技術者として必要な幅広い教養と倫理観を身につけるため、一般科目として、国語、社会、数学、理科、保健体育、芸術、外国語などの科目を配置する。
- ・電気・情報・通信技術者として必要な専門知識や技術を身につけるため、専門科目として、回路理論、電磁気学、プログラミング、通信工学などの科目を配置する。
- ・低学年から高学年に進むにつれて、基礎的な知識から専門的かつ高度な知識や技術を身につけることができるよう、一般科目と専門科目をバランスよく配置する。
- ・第4学年からは、電気工学、情報工学に関する専門性の高い知識や技術を身につけるため、コース制をとり、コース別の科目を配置する。
- ・創造力、問題解決能力を育むため、電気情報実習、電気情報工学実験などの実験・実習科目を配置する。
- ・論理的思考力、コミュニケーション力などの汎用的能力を身につけるため、卒業研究などの科目を配置する。
- ・国際的なコミュニケーション能力を身につけるため、英語科目を各学年に配置する。
- ・広く実社会における体験活動を行い、自主性、責任感、公共心を身につけ、幅広い職業観を持つことができるよう、学外研修やインターンシップなどを取り入れる。

(3) 電子制御工学科

- ・技術者として必要な幅広い教養と倫理観を身につけるため、一般科目として、国語、社会、数学、理科、保健体育、芸術、外国語などの科目を配置する。
- ・電子制御に関連する分野の技術者として必要な専門知識や技術を幅広く身につけるため、専門科目として電気工学、電子工学、制御工学、情報工学、ロボット工学などの分野の科目を配置する。
- ・低学年から高学年に進むにつれて、基礎的な知識から専門的かつ高度な知識や技術を身につけることができるよう、一般科目と専門科目をバランスよく配置する。
- ・創造力、問題解決能力を育むため、基本的な実験・実習科目に加え、課題解決型の実験・実習科目を配置する。
- ・論理的思考力、コミュニケーション力などの汎用的能力を身につけるため、工学基礎研究、卒業研究などの科目を配置する。
- ・国際的なコミュニケーション能力を身につけるため、英語科目を各学年に配置する。
- ・広く実社会における体験活動を行い、自主性、責任感、公共心を身につけ、幅広い職業観を持つことができるよう、学外研修やインターンシップなどを取り入れる。

(4) 生物応用化学科

- ・技術者として必要な幅広い教養と倫理観を身につけるため、一般科目として、国語、社会、数学、理科、保健体育、芸術、外国語などの科目を配置する。
- ・化学技術者、バイオ技術者として必要な専門知識や技術を身につけるための講義科目（有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、化学工学、生物化学、微生物工学など）および実験科目（応用化学実験、生物工学実験など）を配置する。
- ・低学年から高学年に進むにつれて、基礎的な知識から専門的かつ高度な知識や技術を身につけることができるよう、一般科目と専門科目をバランスよく配置する。
- ・より専門性の高い応用化学、生物工学の知識や技術を身につけるために、第4学年からコース制を導入する。
- ・創造力、問題解決能力を育むため、グループ科学実験、創造化学実験、卒業研究などの実験・実習科目を配置する。
- ・論理的思考力、コミュニケーション力などの汎用的能力を身につけるため、プレゼンテーション技法、卒業研究などの科目を配置する。
- ・国際的なコミュニケーション能力を身につけるため、英語科目を各学年に配置する。
- ・広く実社会における体験活動を行い、自主性、責任感、公共心を身につけ、幅広い職業観を持つことができるよう、学外研修やインターンシップなどを取り入れる。

(5) 環境材料工学科

- ・技術者として必要な幅広い教養と倫理観を身につけるため、一般科目として、国語、社

会，数学，理科，保健体育，芸術，外国語などの科目を配置する。

- ・材料技術者として必要な専門知識や技術を身につけるため，専門科目として，金属材料，無機材料，有機材料に関連する科目を配置する。
- ・低学年から高学年に進むにつれて，基礎的な知識から専門的かつ高度な知識や技術を身につけることができるよう，一般科目と専門科目をバランスよく配置する。
- ・創造力，問題解決能力を育むため，製図，総合設計実習，材料創成デザイン演習などの実験・実習科目を配置する。
- ・論理的思考力，コミュニケーション力などの汎用的能力を身につけるため，工学基礎研究，卒業研究などの科目を配置する。
- ・国際的なコミュニケーション能力を身につけるため，英語科目を各学年に配置する。
- ・広く実社会における体験活動を行い，自主性，責任感，公共心を身につけ，幅広い職業観を持つことができるよう，学外研修やインターンシップなどを取り入れる。

(実施の方針) ※全学科共通

- ・1単位当たりの授業時間数は，90分×15回を標準とする。
- ・多様な授業形態や自学自習の教育効果を考慮し，自学自習を含めて1単位当たり45時間の学修を必要とする「学修単位科目」を，第4学年及び第5学年の主要科目に配置する。
- ・各授業科目の到達目標，授業概要，成績評価方法をシラバスに明示し周知する。
- ・成績評価は，シラバスに明示した評価方法に基づき厳格に行う。

新居浜工業高等専門学校専攻科の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

本校の教育の基本方針は，「学びと体験を通じて，未来を切り拓く知恵と行動力を持った信頼される技術者を育てる。」である。専攻科では，この教育方針に基づいた教育目標を以下のように定めている。

- 1) 体験教育を通して，自主性，責任感及び自己学習能力を養う。
- 2) 課題発見と問題解決のための確かな知識，豊かな感性及び実践力を養う。
- 3) 豊かな教養と技術者としての倫理観を養い，社会に貢献できる広い視野を育む。
- 4) リーダーとして信頼される資質・能力を高め，国際的なコミュニケーション能力を伸長する。
- 5) 創造的な技術開発能力と総合的な判断能力を養う。

これらの教育目標を達成することができる資質を有している学生を入学させることを入学受入の基本方針としている。基礎学力を確認するために，推薦選抜及び社会人特別選抜では面接検査における簡単な筆答試験，学力選抜では専門の学力検査を実施している。また，専攻科への適性と意欲をみるために，いずれの選抜においても面接検査を実施して

いる。

具体的には、次のような学生を求めている。

- ・ 専門性，社会性，国際性に秀でた実践的，創造的な技術者を指す人
- ・ 専門とする技術分野の基礎学力を持っている人
- ・ 特定の専門分野だけでなく，幅広く工学全般に興味を持っている人
- ・ 自ら進んで勉学に取り組み，向上し続けようとする意欲を持っている人
- ・ 広く社会に貢献する熱意を持っている人

専攻科修了認定の方針（ディプロマ・ポリシー）

新居浜高専専攻科は，学則に掲げた専攻科の目的を達成するため，所定の在学期間において，以下に定める工学基礎知識，専門知識，問題解決能力，教養，コミュニケーション能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に修了を認定する。

- A. 工学基礎知識：数学，自然科学，情報技術の知識を修得し，それらを専門分野の理解に応用できる。
- B. 専門知識：専門分野の知識・技術を修得し，それらを応用する能力を身につけている。
- C. 問題解決能力：専門分野の知識を活用して，課題発見と問題解決に向けて自主的に考え，他者と協働して計画を立案・実行できる。
- D. 教養：豊かな教養と正しい倫理観を持ち，技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる多面的思考力を身につけ，技術者としての責任を自覚できる。
- E. コミュニケーション能力：日本語による論理的な文章表現力・プレゼンテーション力及び国際的なコミュニケーションを円滑に行うための基礎となる英語理解力・表現力を身につけている。

専攻科教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

専攻科修了認定の方針に掲げる知識・技術を修得させるために，以下の方針に基づきカリキュラムを編成し，教育を実施する。

（カリキュラム編成の方針）

- ・ 豊かな人間性と社会や環境に配慮できる倫理観を養うために，人文・社会系科目を配置する。
- ・ 創造的な技術開発能力と総合的な判断能力を培うために，各専攻に係る主分野の専門的な学識を体系的に，かつ幅広く履修できるように専門科目を配置する。
- ・ 実践的技術者として要求される問題解決能力と自己学習能力を育むために，特別研究などの科目を配置する。

- ・日本語による文章表現力とプレゼンテーション能力を身につけるための科目を配置する.
- ・国際的なコミュニケーション能力を磨くために、各学年に英語科目を配置する.

(実施の方針)

- ・各授業科目の単位数は 45 単位時間で構成され、当該授業による教育効果や授業時間外に必要な学修などを考慮して、次の基準により計算する。
 - 1) 講義については、15 単位時間の授業をもって 1 単位とする.
 - 2) 演習については、30 単位時間の授業をもって 1 単位とする.
 - 3) 実験及び実習については、45 単位時間の授業をもって 1 単位とする.
- ・各授業科目の到達目標、授業概要、成績評価方法をシラバスに明示して周知する.
- ・成績評価は、シラバスに明示した評価方法に基づき厳格に行う.

*入試形態(URL は新居浜高専 HP より引用)

[令和3年度 本科学士募集要項](#)

[令和3年度 編入学生募集要項](#)

[令和3年度専攻科学生募集要項](#)

*試験状況及び偏差値や倍率(URL は新居浜高専 HP より引用)

偏差値 61

[過去の本科入試情報](#)

[過去の編入学入試情報](#)

[過去の専攻科入試情報](#)

*卒業後の進路状況(URL は新居浜高専 HP より引用)

就職・進学

[令和元年度卒業及び修了者](#)

[平成30年度卒業及び修了者](#)

[平成29年度卒業及び修了者](#)

[平成28年度卒業及び修了者](#)

[平成27年度卒業及び修了者](#)

[平成26年度卒業及び修了者](#)

[平成25年度卒業及び修了者](#)

[平成24年度卒業及び修了者](#)

[平成23年度卒業及び修了者](#)

[平成22年度卒業及び修了者](#)